



古志原小だより

令和7年5月20日

その2 文責：岩井

1年生・交通安全教室より



4月18日(金)、1年生は松江警察署、地域の見守り隊、計7名の方々より道路での歩き方、横断歩道のわたり方について教えてもらいました。体育館に集まり説明を聞き、実際に横断歩道をわたるときに手を挙げて、左右の確認、わたっている時もきょろきょろしながら安全確認をするということを学びました。その後、コース別に下校するのですが、教わったことをやりながら上手に帰ることができました。「命を守る」ための大事な時間でしたが、1年生、本当に上手にお話を聞くことができました。

委員会活動より



本気やる元気

えがおいっぱいの古志原小学校

アイデア工夫

計画委員会 学校をよりよくする活動・集会の計画・運営、ボランティアなど	美化委員会 花作りや花壇の管理や校舎の美化など
保健委員会 保健に関する広報活動や衛生検査など	放送委員会 定時・お昼の放送
図書委員会 図書館の整理・整頓や点検、読書推進活動など	生活委員会 学校生活への意識を高める活動名札、あいさつ運動など
体育委員会 体力づくりに関する活動や用具の整理・整頓や点検など	給食委員会 楽しい給食の工夫やコンテナ当番など

今年度の委員会活動が始まりました(4月23日(水)スタート)。全部で8つの委員会があり、5、6年生がそれぞれの委員会に所属して活動します。学年ごとにオリエンテーションで、学年部の先生が、委員会活動の意味、意義、必要なことについてパワーポイントで丁寧に説明してくれました。説明を受けたこどもたちは、それぞれの委員会に分かれて、話し合いをしたり、計画を立てたりしました。こどもたちの主体性による活動から古志原小学校の良いところが増えていく達成感を感じてほしいと思っています。

リレーカーニバルより



5月8日(木)、最高の青空のもと、リレーカーニバルを行いました。学級対抗のリレーで、体力づくりをねらいに、もうひとつにこの時期の学級づくりをねらいとした本校独自の取組です。この日におけて学級ごとに一生懸命練習してきました。本気で走って仲間にバトンを渡すこどもたちに保護者、地域の方々、古志原幼稚園の後輩たちが応援に来てくれて、盛大に行うことができました。閉会式では達成感、充実感からか、こどもたちの話を聴く態度が今期一番よかったと思いました。行事、経験を通して成長するという時間となりました。

学校運営の根本にある思い

これからの社会を生きるこどもたちにどのような力をつけていくといいのか、という視点をもって、学校運営の根本にある思いについてお伝えさせていただきます。

教育の目指すところ **自立と社会参加**

○笑顔、あいさつ

こどもたちが笑顔で過ごせる学校づくりの基になるのは、学校でこどもたちを迎える教職員の笑顔です。そのためには、気持ちのよいあいさつ、返事など**大人が率先して行うこと**、当たり前のことかもしれませんが、大事にしていきたいことと思っています。

そして、ご家族のみなさん、地域みなさん、教職員が笑顔で、同じ方針同じ方向を向いて笑顔で手を取り合う姿、**大人の笑顔が、こどもたちが安心して学校生活を送ることができる糧**になり、こどもたちの心を耕す基盤になると思います。

○～未来を見据え～ **合意形成能力**

国が言うところでは、10年、15年先にはどんな社会になっているのか、ある程度予測ができるそうです。しかし、科学技術の進展、価値観の多様化、グローバル化した社会においては、30年、40年先には、どんな社会になっているのか予測ができないそうです。現在ある職業のうち、かなりの比率のものがAIにとって代わられたり、新しく開発されるであろう技術により自動化されたりするなど、人間の価値観の根底に関わる予測困難な未来が待ち受けていることは、想像に難くありません。

世界の人口	日本の人口
2022年 79億人	1億2000万人
2050年 98億人	9700万人

(参考・国連人口部)

また、世界の人口が増える一方に対し、日本の人口は減っていきます。このような状況において、日本人だけでは日本の国力を維持していくことは困難です。外国の

方々の力を借りなければ日本を支えることが出来ない時代になっていると予測されます。言葉、文化が違う方々とコミュニケーションをとりながら社会を担っていくために必要な力は、**自らの思いを積極的に発信できる「自己発信」する力、そして他者の思いをしっかりと聞きながら受け入れる「受容力」、その中で合意形成を重ねながら新たな価値を生み出す力**であると考えます。社会の中核を担って活躍する年代は、40代、50代、60代と考えた時、今、まさに目の前にいるこどもたちが、30年後、40年後の社会の主役となります。未来を見据えた時に、こどもたちにつけさせたい力を、このような背景を思いながら考えています。

○自己決定しながらやると決めたことを粘り強くやり続け、やり遂げる力

三日坊主という言葉があります。すぐあきらめたり、飽きっぽかったりすることを揶揄した言葉ですが、見方を変えたら、ものすごく嫌なことでも、頑張って三日続けられた、やり遂げられた、ということはすごいことだと思います。三日続けられたら、一週間がんばれる。一週間がんばれたら、三週間がんばれる。三週間がんばれたら、一ヶ月がんばれる。そうしたら、半年、一年・・・ずっとがんばれる。朝、決まった時間に自分で起きる、毎日〇分、または〇時間は必ず勉強する、今やっているピアノの練習を毎日〇分はする、少々しんどいことかもしれないけど、自分のためになると思うならなんでもいいと思います。

こどもが**やり続けるということ**を自分自身で決め、そこでがんばっている姿を認め励まし応援しながら、こどもたちのやる気、自己肯定感を高めていきたいです。